

チュンジーダマ

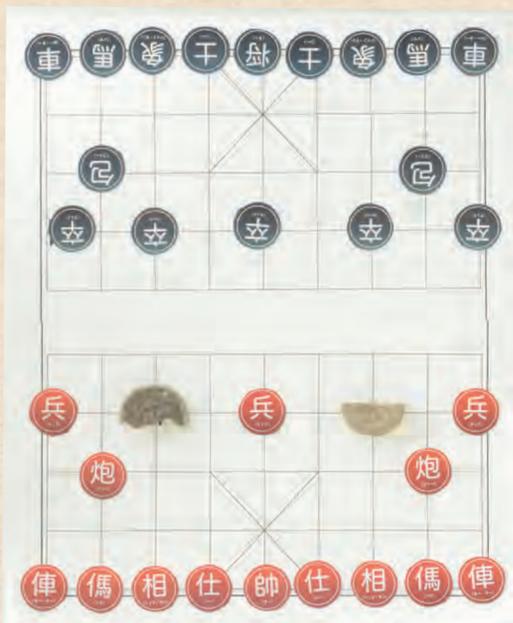
象棋駒

■ 出土地：首里城跡（那覇市）

象棋駒とは、象棋（中国将棋）や象棋（琉球将棋）で使用する駒です。日本将棋が一人あたり8種類20個の駒を用いるのに対して、象棋は7種類16個です。首里城跡では三つの象棋駒が見つかっています。一つは「炮」あるいは「砲」の駒ですが、左側が大きく欠けているためどちらかはよく分かりません。残りの二つは「兵」の駒で、それぞれ上半分と下半分が欠けた状態で出土しました。

駒は中国の龍泉窯で焼かれた青磁製で、円形をしていたものと考えられます。直径は約4cm、厚さ約1.5cmです。

「炮」・「砲」は日本将棋に同様の動きをするものはありませんが、「兵」は「歩兵」にあたります。象棋がいつ頃、沖縄に伝わったのかは不明ですが、首里城跡から出土していることから首里城内でも象棋が指されていたことが窺えます。



▲首里城跡から出土した象棋駒「兵」

「まいコレ」では、収蔵庫に眠るイチ押しのお宝を、月替わりでご紹介。

今回は、首里城跡で出土した象棋（中国将棋）の駒です。